

北区岩淵周辺地区 かわまちラボ

－第 1 回－

令和 7 年 1 2 月 1 9 日



第1回かわまちラボ

次第

日時 令和7年12月19日（金）14時～16時30分
場所 荒川下流河川事務所1階 アモアホール

1. 今後の取組み
2. 本日の内容（まち歩き）
3. かわまちルートデザインワーク①（意見交換）
4. 今後のスケジュール

1. 今後の取組み

1.1 今後の取組み

かわまちラボの活動目的について

視点1 水面や河川敷の活用

資源を活用した多面的な利活用の実現による
さらなるアクティビティやイベントの拡充が求められている

基本方針1 訪れ、滞在したくなるかわづくり

視点2 親水護岸・休憩スペース

日陰や休憩場所に加え
居心地のよい快適な水辺空間の整備が求められている

基本方針2 誰もが親しみやすいかわづくり

視点3 まちとかわの回遊性

荒川、新河岸川とまちとのつながり、連続性の強化と
かわへのアクセス性の改善が求められている

基本方針3 かわとまちの回遊性を高めるまちづくり

視点4 地域の魅力発信・にぎわい創出

河川空間において、民間事業者等が参画しやすい
環境・制度等の整備が求められている
防災教育や環境学習等の充実を図っていく必要がある

基本方針4 公民連携によるにぎわい・まちの魅力づくり

かわまちラボの
活動目的

- (1) かわとまちの回遊性強化
- (2) エリアの魅力発信・PR
- (3) かわとまちの公共空間活用
- (4) 担い手の発掘・育成

1.1 今後の取組み

かわまちラボでの活動を通じて、短期的に目指したい姿イメージ（共通認識）

皆さまからいただいたご意見を踏まえ、かわまちづくりの推進とともに、かわとまちをフィールドとした「活動間の接点」や「地域居住者・来訪者の滞在・活動」を増やしていきたいと考えます。

現在の状況

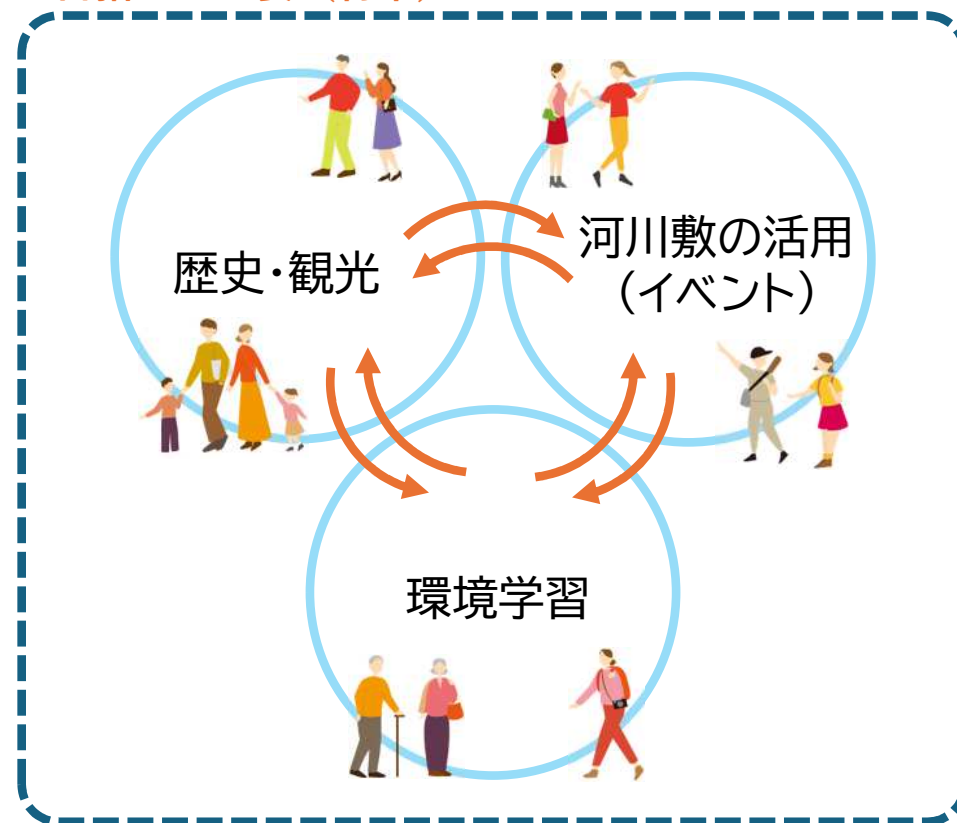
※下記のテーマは例示



各団体で、各活動を行っている

目指したい姿（将来）

かわまちラボ



各活動が活発化・拡大され、
相互にターゲットを共有できるプラットフォームに

1.1 今後の取組み

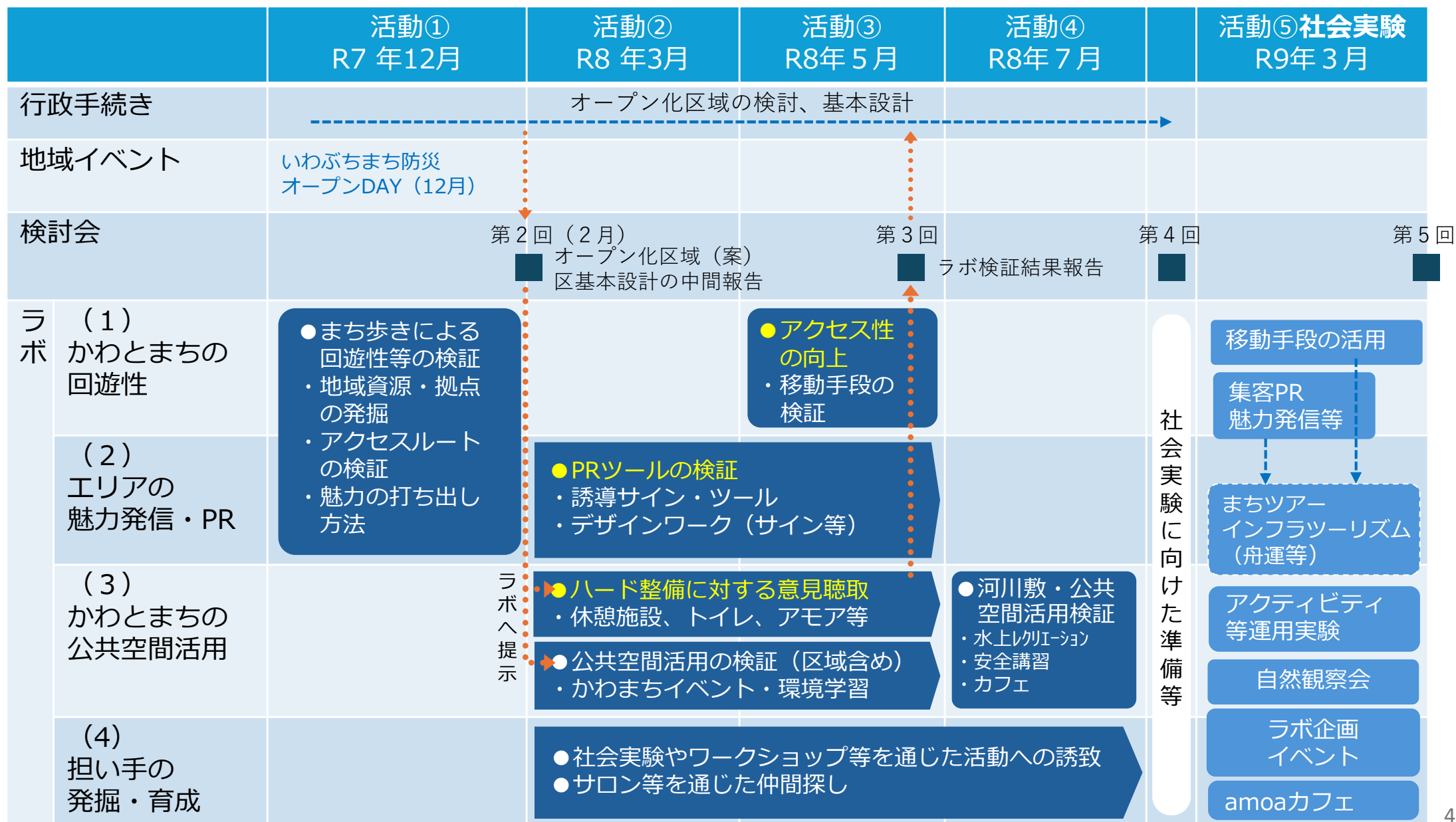
かわまちラボの実施内容（案）について【別紙：アイデアマップ参照】

調査協力いただいた結果も含め、整理しました。 [※説明後、再度内容について確認](#)

目的	実施内容(案) ※調査結果を踏まえ、加筆・更新した事項
(1)かわとまちの回遊性強化	<ul style="list-style-type: none">● “回遊性”を楽しく体験できるイベント(地域資源と関係づけた謎解きやフォトラリー、スタンプラリー等)● まちから川へ誘導する効果的なサイン、移動支援となる小型モビリティの推進(1～2人乗り物のポート設置等)● アクセスルートの最適化検証(駅から河川空間までの細かな拠点ポイント)
(2)エリアの魅力発信・PR	<ul style="list-style-type: none">● 川の歴史やイベントなどの一体的な情報発信(特集ページの作成、公的広報の活用、その他魅力発信ツールの検討)● 地域団体の活動や地域資源と関係づけた推奨回遊ルートの作成・紹介● キッズサポーター等の地域住民の関わりづくりの仕掛け
(3)かわとまちの公共空間活用	<ul style="list-style-type: none">● 社会実験・かわまちイベントの企画・実施(身近に触れ合える自然体験、季節が感じられる、広大な敷地や水面を活用したイベント・アクティビティの実施)● 水辺の積極的な活用に向けた他自治体の事例研究(意見交換含む)● 放課後の児童や長期休暇中の日常利用の促進● ハード整備に対する条件(利用者・運営者視点)等の確認
(4)担い手の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none">● 「魅力発信サポーター」等の地域外人材募集● ラボ活動以外の持込企画(これ、やりたい)の実践の場の提供・伴走支援(企画→実施へのお手伝い)

1.1 今後の取組み

かわまちラボの進め方について



1.2 今後の進行スケジュールについて

かわまち推進検討会

● 第1回検討会 R7.9.26

- ・ラボメンバー信任
- ・今後の検討事項について

● 第2回検討会 R8.2

- ・オープン化の区域（案）
- ・基本設計中間報告

● 第3回検討会 R8.5

- ・基本設計の報告
- ・かわまちラボの中間報告

● 第4回検討会 R8.10

- ・設計・工事スケジュール等の報告
- ・オープン化の区域（承認）

● 第5回検討会 R9.5

- ・かわまちラボ活動報告
- ・運営スキームの承認

かわまちラボ

● R7.10.27（準備会）

● 第1回 R7.12 活動① WS

- ・まち歩きによる回遊性等の検証
- ・地域資源・拠点の発掘・PR手法の検討

● 第2回 R8.3 活動② WS

- ・ラボ実施内容の確認
- ・ハード整備／オープン化区域に対する意見交換
- ・デザインワーク②

● 第3回 R8.5 活動③

- その①：ラボ案取りまとめ
 - ・ハード整備／オープン化区域に対する意見取りまとめ
 - ・デザインワーク③
- その②：検証
 - ・アクセスルート／回遊性の向上の検証、PRの検証
 - ・公共空間活用／オープン化区域（案）の検証①

● 第4回 R8.7 活動④

- ・公共空間活用／オープン化区域（案）の検証②
- ・河川敷（水上アクティビティ等）の検証
- ・社会実験企画・準備

● 第5回 R9.3 活動⑤ 社会実験

※WS：ワークショップ

本日！

次回

2. 本日の内容（まち歩き）

2.1 本日の内容について

直近のラボ活動内容について

本日と次回の2回を通じて、活動目的(1)「かわとまちの回遊性強化」及び(2)「エリアの魅力発信・PR」の検討として、『アクセス性の向上手段の検証』と『PRツールの検証』に関するワークショップを行います。

【本日】12月19日(金) 第1回かわまちラボ

- ・2つのルート「まち歩き」を通じて、課題・改善策を含め、地域資源や拠点の発掘、回遊性の向上や魅力発信等の手法検討



第2回推進検討会(2月)



3月●日(●) 第2回かわまちラボ

- ・第1回の検討を基に、今後の実施内容を確認
- ・ハード整備や河川のオープン化区域指定範囲に関する意見交換等

2.1 本日の内容について

まち歩きルート

本日は活動目的(1)「かわとまちの回遊性強化」の検討として、「まち」で立ち寄る・滞在できる地域資源や拠点の発掘・共有するため、まち歩きを実施します。
対象エリアで想定される3つの視点を踏まえて、2つのルートを設定しました。

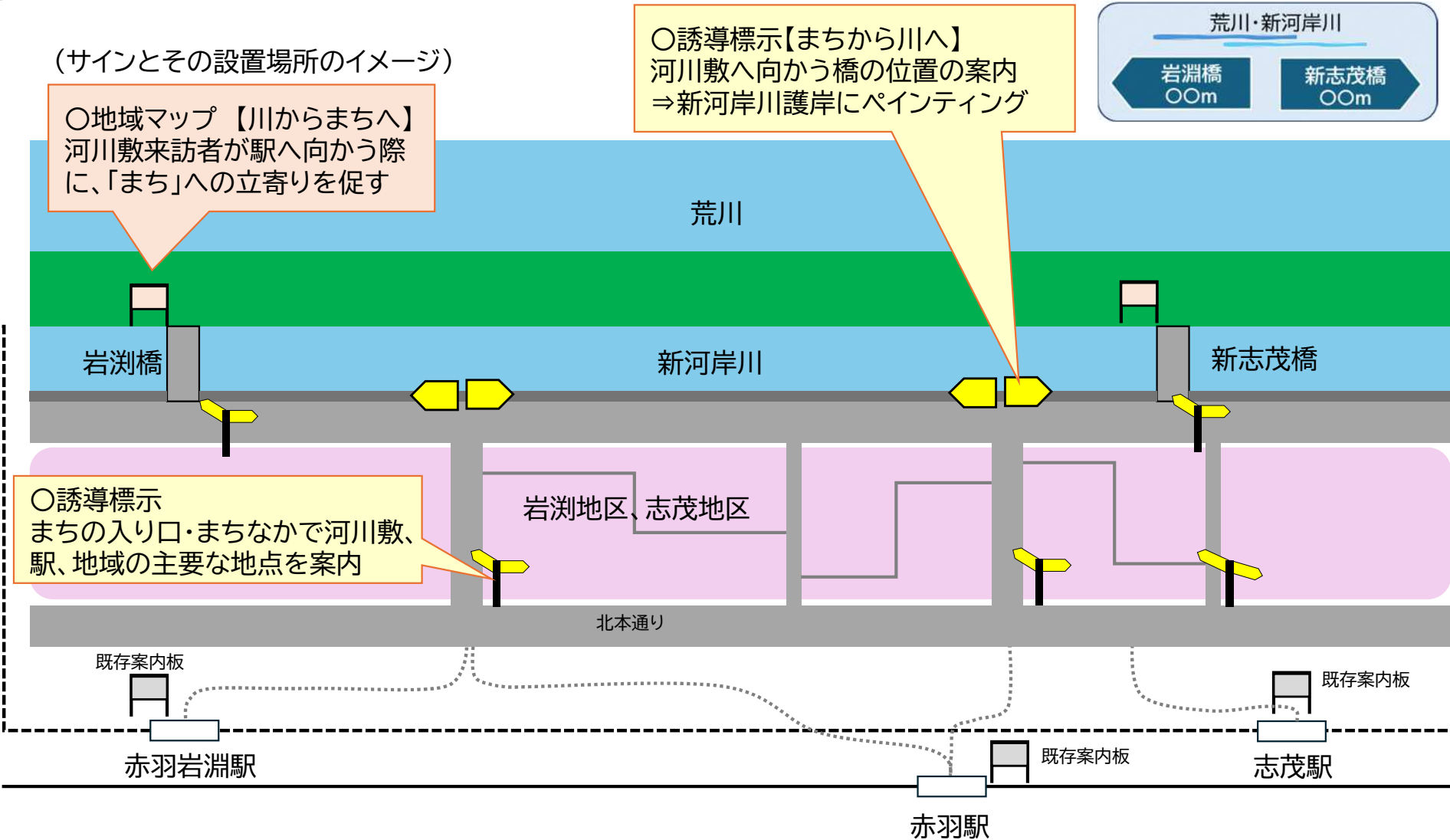
ルートの視点



※詳細なルートは、別紙「まち歩きマップ(Aルート・Bルート)」を参照してください。

活動結果の活用イメージについて

本日の意見交換結果を受けて、次回以降、アクセス・周遊ルートや、サイン設置場所の検討をしていきます。



2.1 本日の内容について

まち歩きの見点

2ルートのまち歩きにあたって、以下の3つの視点で実施していただきます。

まち歩きの見点

1. 地域資源等となる得る空間と必要な情報発信【※まち歩きで収集する情報】

- ①興味をもった、もしくは他者(お客さん・来訪者)に紹介したいと思う資源や魅力、活動の場や拠点となりえる施設・空間などはどこか？
- ②立ち寄ってもらうために必要な情報と、その周知方法は何か？
(例:誘導標示(サイン)がどこにあるとわかりやすいか。)

2. (●●を目的としない)団体活動の発見

- 上記①で興味を持った施設や空間等と、自分の活動をどう結び付ければよいか？
(例:活動終了後に案内する等)

3. かわまちエリアにおける滞在時間増加(1ヶ所あたり、もしくはエリアの滞在時間)

- 特徴的な資源・箇所の活用・周知を通じて、滞在時間を増やす工夫・方法は？
(例:複数の施設をまわる、銭湯とその周辺の資源・施設を回るご近所ルートをつくる、説明看板やQRを使った説明ガイドシステムにより、1ヶ所の滞在時間を延ばす)

3. かわまちルートデザインワーク①

3.1 かわまちルートデザインのワーク①（意見交換）

まち歩きの気づきの共有・まとめ

班ごとに、各ルートの気づきを整理・まとめを行います。

落とし込みを行う
気づき①

興味を持った
資源・空間

落とし込みを行う
気づき②

不足している情報と
周知方法のアイデア



3.1 かわまちルートデザインワーク①（意見交換）

エリアにおけるイベント報告 | 荒川 RIVER SIDE FESTIVAL (11/29) について



3.1 かわまちルートデザインワーク①（意見交換）

エリアにおけるイベント報告 | いわぶちまち防災オープンDAY（12/13）について



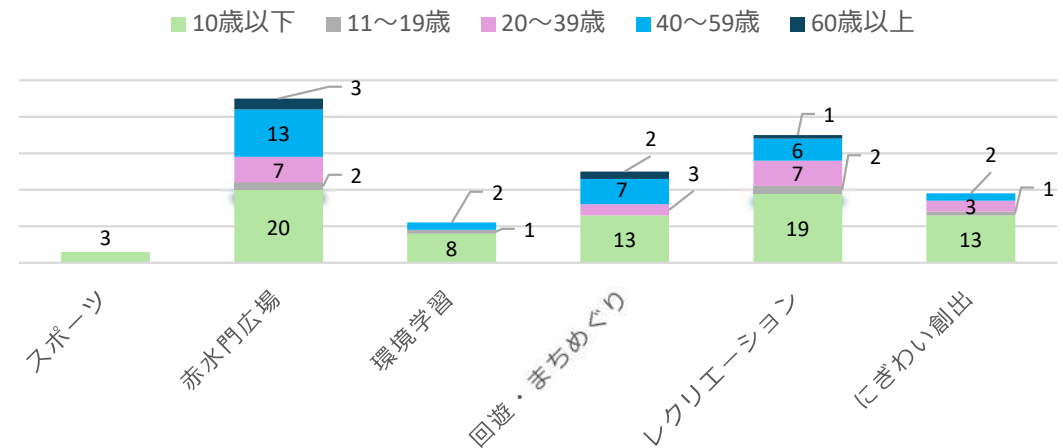
3.1 かわまちルートデザインワーク①（意見交換）

エリアにおけるイベント報告 | いわぶちまち防災オープンDAY（12/13）について



魅力スポット調査

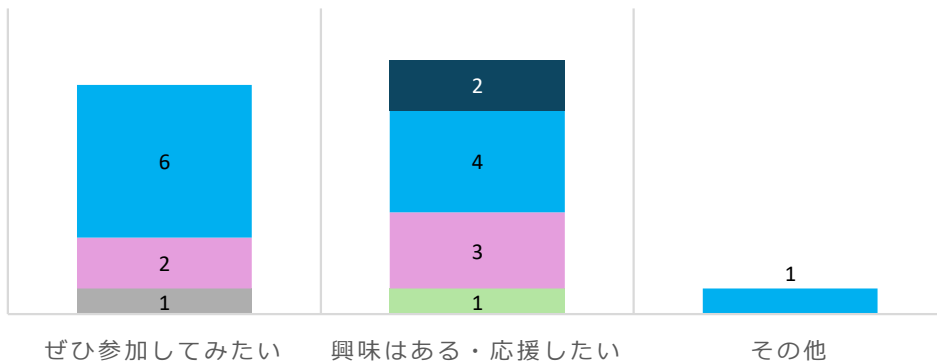
回答総数：138
複数回答可



意見交換の場への参加意向

回答総数：20
複数回答可

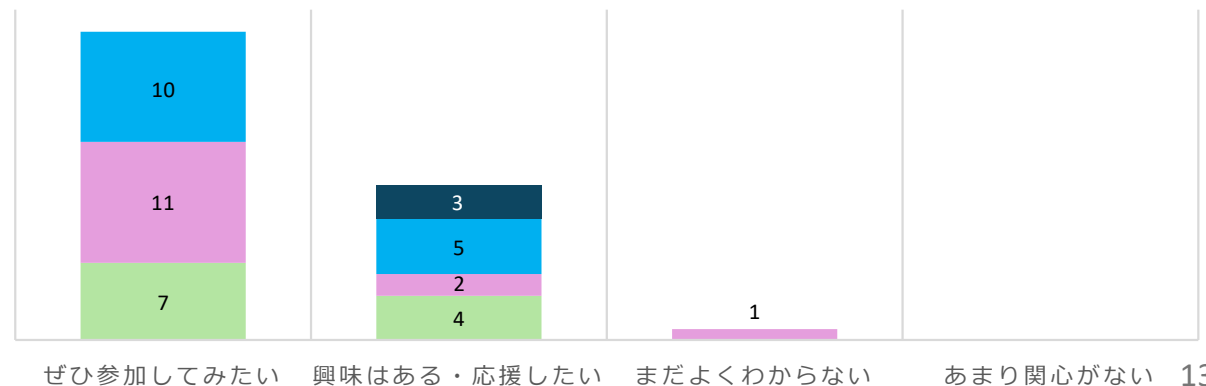
■ 10歳以下 ■ 11～19歳 ■ 20～39歳 ■ 40～59歳 ■ 60歳以上



イベントへの参加意向

回答総数：43
複数回答可

■ 10歳以下 ■ 11～19歳 ■ 20～39歳 ■ 40～59歳 ■ 60歳以上



3.1 かわまちルートデザインワーク①（意見交換）

グループワークの流れ

【5分】

1. ご自身で記述されたまち歩きでの気づきメモから、付箋に書き出しをお願いします。
撮影された写真については、班ごとのクラウドに保存をお願いします。（※別途案内）



【5分】

2. 書き出した付箋を、大判MAPに貼り付けしながら、簡単にご説明をお願いします。
※各班に置いてあるIpadを使って、適宜撮影された写真もご活用ください。



【20分】

3. 班の意見として、取りまとめるため、出された意見を基に意見交換を行います。

① 興味を持った資源・空間 ② 不足している情報と周知方法のアイデア

※本日は次回ラボでの議論に向けて、考えられるアイデアは全て落とし込む回となります。

3.1 かわまちルートデザインワーク①（意見交換）

グループワークのルール

<グループワークにあたって>

- ・進行がスムーズに行われるよう互いに協力しましょう。
- ・多くのことが言いたいときでも、なるべく他の人も参加できるように配慮しましょう。《対話の場です！》
- ・他の人の意見を頭から否定することはせず、いろいろな考えの人がいることを理解しましょう。

3.1 かわまちルートデザインワーク①（意見交換）

グループワーク成果の発表

各班の代表の方が、成果を発表してください！

【発表時間：各班 2 分】

4. 今後のスケジュール

4.1 今後の進行スケジュールについて

かわまち推進検討会

● 第1回検討会 R7.9.26

- ・ラボメンバー信任
- ・今後の検討事項について

● 第2回検討会 R8.2

- ・オープン化の区域（案）
- ・基本設計中間報告

● 第3回検討会 R8.5

- ・基本設計の報告
- ・かわまちラボの中間報告

● 第4回検討会 R8.10

- ・設計・工事スケジュール等の報告
- ・オープン化の区域（承認）

● 第5回検討会 R9.5

- ・かわまちラボ活動報告
- ・運営スキームの承認

かわまちラボ

● R7.10.27（準備会）

● 第1回 R7.12 活動① WS

- ・まち歩きによる回遊性等の検証
- ・地域資源・拠点の発掘・PR手法の検討

● 第2回 R8.3 活動② WS

- ・ラボ実施内容の確認
- ・ハード整備／オープン化区域に対する意見交換
- ・デザインワーク②

● 第3回 R8.5 活動③

- その①：ラボ案取りまとめ
- ・ハード整備／オープン化区域に対する意見取りまとめ
- ・デザインワーク③
- その②：検証
- ・アクセスルート／回遊性の向上の検証、PRの検証
- ・公共空間活用／オープン化区域（案）の検証①

● 第4回 R8.7 活動④

- ・公共空間活用／オープン化区域（案）の検証②
- ・河川敷（水上アクティビティ等）の検証
- ・社会実験企画・準備

● 第5回 R9.3 活動⑤ 社会実験

※WS：ワークショップ

本日！

次回